

校訓

「^ぎ技術^{じゅつ}と^{こころ}精神」

校訓の説明

「技術と精神」は本校校歌に歌われ、優れた技術の練磨には「精神」は不可欠のものであり、「精神」を有する技術は必ず、世の役に立つものであり、工業学科の専門性を生かし、知識・技術の修得と人間的な発達をめざし、志高く調和のとれた職業人としての能力育成を図ることを願ひ制定されました。

作詞 佐佐木 信綱

作曲 信 時 潔

校歌

伊勢の海 波のおと豊に
さかゆる港 四日市
鶉の森に近き 学び舎に
学ぶ工業の 技術と精神

颯爽と 明くる朝空に
かがやくむかふ 鈴鹿山
かがやける希望 常にもち
友よいざ共に 勤しみ進まむ

新しき 文化興すべく
身心栄ゆる その生命
たゆまざる力 培ひて
我ら尽さばや 我らの祖国に

校旗



校章

学校の象徴である校章は、正三角形をなし、三つの鋭角は三重県を表現し、底辺の両端に描かれた円弧と各辺によって四日市の四を示し、中の梨地模様は波静かな伊勢の海を表現している。

三角形の三辺は学、業、徳の各々を意味し、また、その三位一体から成る人格の完成を本校教育の目標としたものである。